

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はるにれ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○従業者評価実施期間	令和7年12月13日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月20日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者のニーズに合わせ、個別プログラムと、集団プログラムを組み合わせて支援をしている。	子どもの発達特性や子ども自身の持っている力をみながら、自尊心が高まるよう関わっている。集団プログラムでは、子どものやりたいことを取り入れ、自己選択できるよう配慮している。	専門性をさらに高めるためのスキルアップに取り組む。
2	定期的に保護者と面談し、子どもの状況を確認しながら、子どもの発達特性の理解や、家庭での対応方法についての助言、さらに、きょうだい児へのカウンセリングなど、家族支援に取り組んでいる。	まずは、子どもが家庭で安定して過ごせるように、保護者のメンタルケアも含めて、寄り添い支援に取り組んでいる。	ニーズに応じて、家族療法カウンセリングや、ペアレントプログラムに取り組んでいきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない。	事業所に通うことへの抵抗のある方もおられたり、個別支援の方は、来所出来る日が限られているため、交流を設定することは難しいと考えていたため。	交流のニーズを把握し、希望があれば、気軽に集まって、お喋りができる場を設定していく。
2			
3			